



## 菊池市家庭教育通信 令和3年度第1号

R3.5.18

～小学生の保護者の皆さまへ～

こんにちは。家庭教育支援員の清田智子です。本年度も5回程度通信を発行し、家庭教育に関する情報を皆様にお伝えしていきます。子育ての参考にいただければ嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。



### 家庭学習の助け方

家庭学習の習慣をつける事は、学校生活を楽しく過ごす為の助けにもなります。自分で学習するようになるまでは、大人が助けてあげるといいですね。

#### ① 理解を助ける

学校で習う事は、初めて聞く言葉もたくさんあります。そして、分からない言葉は、頭に入らないし、覚えにくいものです。そこで、前日に教科書を読ませると、先生の話がよく分かります。教科書の目次や見出し、図や絵を眺めたりするのもお勧めです。

#### ② 覚える事を助ける

人間の脳は忘れるようにできています。しっかり覚える為には、思い出すという作業が必要です。帰ったら「〇〇の時間、先生は何を話してくれたの?」とか「初めて聞いた言葉がある?」などと聞いてみましょう。思い出し、話す事で記憶できます。また子どもも「帰ってからこの事を話そう」と思って聞く事で、記憶力も高まります。大人は聞き役に徹し、知っている話でも興味を持って楽しんで聞きましょう。どこまで習ったのかも聞いて、教科書に日付と印をつけておくと、予習する時に役に立ちます。

#### ③ 練習が必要な事を助ける

一緒に九九を毎日唱える、毎日5分だけ計算練習をさせる、リビングやトイレなどに漢字表、日本地図、世界地図、歴史の年表などを貼って、その中からクイズを出すなど、無理のない範囲で練習を助けてみましょう。

#### ④ 家庭学習の習慣を助ける

勉強した事を、表や専用のメモ帳、カレンダーなどに記録してあげましょう。書き方は自由。漢字〇個、計算〇分などと細かく分けてもいいし、教科別に記入してもいいですね。日付と時間は必ず書きましょう。毎日ご飯の後や寝る前など時間を決めて、記入をします。週ごと月ごとの集計もして、学習貯金を子どもと楽しみましょう。

学習は、楽しみながら。上記の全てを毎日まじめにしないでいいですが、家や学校で「できた!」「わかった!」「おや?」「まてよ?」「がんばった!」「おもしろい!」と思えるような手助けができるといいですね。応援しています。



家庭教育支援員 清田智子  
菊池市教育委員会 生涯学習課  
25-7232